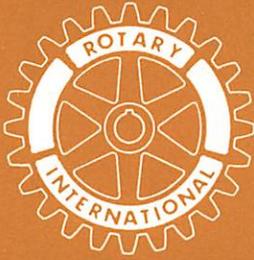


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 魚津常義
幹事 二村 聡
I.T委員長 油田弘佑

No. 8

超 我 の 奉 仕

SERVICE Above Self

2005~2006年度 RI会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

きょうの例会
第1102回 平成17年9月13日(火)

クラブフォーラム
(職業奉仕・社会奉仕・環境保全)

先週の記録
第1101回 平成17年9月1日(木) 晴
万博例会 (ロータリー館)

◆“君が代” “それでこそロータリー”

◆出席報告

会員 60(57)名 出席 27名
出席率 47.36 %
前々回 8月22日(修正出席率) 91.23%

◆ゲスト紹介 財団法人2005年国際博覧会協会
第一事務管理室 室長 近藤正人 様

二村幹事報告

1. 次回例会は13日(火)で例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はご予約下さい。
本日の例会は6日(火)の変更です。

◆伊藤健文君よりお知らせ

9月3日~13日までモリゾー・キッコロメッセにて「世界のSho・日本の書」を開催致しますので、是非御覧いただきますようお願い申し上げます。

魚津会長挨拶

皆さん今日は
本日は御夫人・ご家族にも愛・地球博へ参加頂き有り難うございました。

ロータリー館での例会は昨年5月に1度開催し、今日の開催は昨年度より二村幹事に早くよりお骨折りいただき、ゲストとして、国際博覧会協会の近藤正人氏に万博についてお話頂きますようご依頼申し上げます。

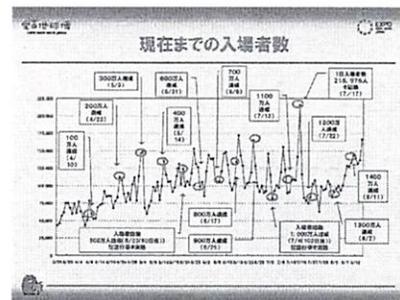
愛・地球博は3月25日開幕し入場者数の心配等ありましたが、大変順調に進み残すところ1ヶ月を切っております。最後まで何事もなく予定通り成功の内に閉

幕することを祈る者であります。

例会終了後、見学される方は大変暑く、込み合っておりますのでお気をつけてお帰り下さい。

◆講演

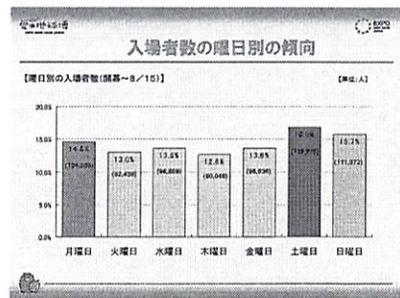
国際博覧会協会第一事務管理室 近藤 正人室長



入場者数の過去博との比較

【総入場者数に対する会期2/3経過時の入場者数割合】	大阪万博 1970/3/15~7/14 (193日) (1,810,000)	つくば科博 1982/3/17~6/18 (123日) (1,840,000)	大阪万博 1989/4/1~7/1 (123日) (1,810,000)	愛知万博 2005/3/25~6/25 (123日) (1,810,000)
会期2/3経過時の入場者数	25,601,267人	11,093,751人	15,678,735人	12,222,056人
総入場者数に占める割合	55.2%	59.0%	59.1%	82.2% (1,500,000人未満)

【1日平均入場者数との比較】	大阪万博	つくば科博	大阪万博	愛知万博
会期全体の1日平均入場者数	350,922人	110,515人	126,377人	81,021人 (1,800,000人未満)
会期2/3経過時の1日平均入場者数	290,896人 (82.9%)	97,510人 (88.2%)	112,115人 (88.7%)	102,185人 (126.0%)



ロータリー館例会場内

10時45分バスにて愛知厚生年金会館を会員27名・夫人10名と家族を乗せ道路が込み合うこともなく11時20分に西ゲートよりロータリー館へ



それぞれが例会終了後の見学コースの予定を思案？



会長より今日一日仕事を忘れてのんびりして下さい。



成田良治君の企業館・外国館と楽しい思い出になりますよう乾杯！



バイキングにておなかをいっぱい



全員で記念写真 ニッコリ！！

平日としては開幕以来最高の人出で、みなさん夏休みが終わり空いていると考えたのかな？

残暑も厳しくお疲れ様でした。

先々週の例会

第1100回 平成17年8月30日(火)

曇り

◆“我等の生業”

◆出席報告

会員	60(57)名	出席	41名
出席率	71.93 %		
前々回	8月9日(修正出席率)		87.72%

◆ゲスト紹介 元会員

水野 賀績氏

◆9月会員誕生日

竹内 克豊君(9/3)	谷口 優君(9/5)
三好 親君(9/6)	久野峯一君(9/12)
林 哲央君(9/19)	吉田節美君(9/23)
大口 弘和君(9/26)	

二村幹事報告

1. 次回例会は9月1日(休)万博例会となっておりますので、6日(火)の例会はございません。
2. 2004～2005年度年次報告書とロータリーの友9月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◆黒須さんバナー紹介

クラブへ入会して9年目となりますが、他クラブへ出席した事が無く、河口湖は私の故郷で、8月2日に帰った折、河口湖クラブに出席して参りました。クラブは今年で30周年を迎え10月に行事を開催されるそうです。昨年の新入会員は7名ありその中の一人が私の親戚でお花屋さんです。例会場には会員39名のポスターが掲示され又、無断欠席者はニコボックスに寄付をする事が義務づけられていました。

39名の内女性会員が2名いらっしゃってとても親切にいただいた事が印象に残りました。

※バナーを会員エレクトに手渡し

水野賀績君退会挨拶

皆さん今日は御無沙汰しております。

昨年の6月末にて退会を致しましたが、40才より、70才まで人生の輝ける時をクラブでお世話になり、一言お礼を申し上げたく本日出席させて頂きました。

創立年度に入会させて頂きチャーターメンバーとして語りべの一人でありながら退会をして申し訳ないと思っております。

在籍中には会長とクラブ内では2人目のガバナー補佐をさせて頂き、千種クラブを越えた地区の活動を見る事が出来、負担もありましたが、充実したロータリー生活をさせて頂きました。

昨年より仕事の関係で月に1回程の出席も適わず、退会には踏ん切りが着かない気持ちもありましたが、状態が良くなればもう一度お仲間させて頂ければと思っております。

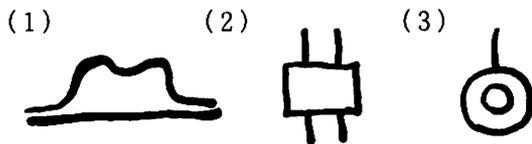
23年間お世話になり有り難う御座いました。

山本会長エレクト挨拶

デザインの楽しみ

愛・地球博も成功裡に閉幕を迎えようとしています。ご同慶のいたりです。この行事が残したものは沢山ありますが、その中でも「デザイン」に対する意識を高めてくれたことは注目すべきことでしょう。モリゾウやキッコロが子どもだけでなく皆のアイドルになったのはPRの方法も含めて、今までと違ったデザイン意識の現れと解釈できます。ロボットなど科学技術の粋を集めたイベントや魅力的な展示のなかにもその底にある人々の「美しいもの」が好きという意識が見えています。これがデザインの出発です。走ればよいからより美しい走りへ、食べれば良いからより美味しいものへ、楽しいことからより楽しいことへ、誰もが願う事です。そして誰もが出来るのがデザインです。ユニバーサルデザインなど、身の回りにはいっぱいあります。ただ現代という時代の中で個人のデザイン感覚が発揮できないだけです。デザインは誰にでも出来るのです。それを、今の私たちは忘れてしまったのです。

1900年、パリにサン・デクジュペリは生まれました。「星の王子さま」の著者です。死ぬまで子どもの心を忘れなかったひとです。彼の心の中に私たちの忘れてしまったものを覗いてみましょう。



上の絵はなにを描いたものでしょう？(1)は「星の王子さま」、(2)と(3)は日本の子どもの絵です。

(1)は大蛇がゾウをのみこんだところです。
(2)は机、

(3)は電球と白いかさを下からみたところです。

三題とも解らないのは子どもの心から暫らく遠ざかっているせいかもしれません。

このようなデザイン技法は鋭い感覚をもったデザイナーと称する大人たちによって、人のため、会社のためにうまく使われることがあります。どこの会社か、どんな意味があるか考えてみて下さい。

(4) (5) (6)



これは感覚だけでなく、論理、理念などがその裏に準備され、忘れかけている人々の心に働きかけます。

(4)は三つの会社が一つになった象徴としてのエンブレム

(5)はかつてプロペラ飛行機の製造をしていた会社のマーク

(6)は四つの会社が一つになった象徴としてのエンブレム

以上3点はプロデザイナーの作品です。商売モノです。

私たちは自分の生活を楽しみ、より快適に過ごすためユニバーサルデザインに注意してみましょう。

高度な専門的なデザインではなく、身近なモノに目をむけ、誰が作ったんだ？ なんでこんな形をしているんだ？ 材料はなんだ？ いくら位かかるんだろう？ キッコロとモリゾウは万博閉幕後どうするんだろう？ プロのデザインではなく素直な子どもの心がデザインを楽しむ基本です。こんなことを考えてみるのも万博効果の一つかもしれません。

●●●●●●●● 友愛の日 ●●●●●●●●

ニコボックス

(9月1日分)				伊藤 健文	加藤 重雄	佐野 寛	鈴木 理之
魚津 常義	二村 聡	小林 明	小杉 啓彰	山本 英次	山本 眞輔		
万博例会夫人にも参加頂き				小坂 井盛朗	黒野 貞夫	吉田 節美	
浅井 誠寿	万博の秋の人出の 吾もひとり			黒須 アイ子	牧野 登志子	万博例会に参加して	
油田 弘佑	足立 一郎	成田 良治	西川 豊長	宮本 光久	三好 親		
萩原喜代子	池森 由幸	大口 弘和	佐久間 良治				
				合計			
				39,000円			
(8月30日分)				宮本 光久	宮尾 紘司	小林 明	鈴木 理之
油田 弘佑	在田 忠之	成田 良治	西川 豊長	尾関 武弘	佐久間 良治	虫の音に秋の気配を感じます。	
二村 聡	萩原喜代子	尾関 武弘	佐久間 良治	佐野 寛	鈴木 正男	夫人誕生日祝い	
池田 隆	池森 由幸	佐野 寛	鈴木 正男	竹内 眞三	舎人 経昭	足立 一郎 黒野 貞夫	
伊藤三津子	伊豫田博明	竹内 眞三	舎人 経昭	和田 正敏	山本 眞輔		
櫻尾 富二	川端 圭	和田 正敏	夫人誕生日祝い				
小杉 啓彰	小山 雅弘	虫の音に秋の気配を感じます。					
小坂井盛朗	黒須 アイ子	竹内 克豊	吉田 節美				
牧野登志子	松永 正史	会員誕生日祝い					
				合計			
				76,000円			

ロータリーの友より

未来のロータリアン

RI会長メッセージ

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

9月は新生代のための月間です。私たちは、9月を「私たちの未来のための月間」と呼ぶこともできます。なぜならば、私たちが青少年に投資するということは、私たちの未来への投資でもあるからです。思いやりがあり、活動的なロータリアンによって、それぞれの年代のグループのために青少年プログラムが展開されていることに、私たちは誇りをもつことができます。

指導力を身につける

私たちが青少年とかかわりをもつ切っ掛けとなるものの一つに、インターアクトクラブがあります。これは、地域社会や学校を母体としています。学校がすべてを引き受けるというのではなく、スポンサークラブとともに、会合やプロジェクトを実施しています。インターアクトクラブは、ロータリークラブが実施しているのと同じような支援をすることも少なくありません。例えば、津波犠牲者のために募金し、貧しい子どもたちのための屋外イベントを準備し、発展途上国で家の改修を行いました。

インターアクトは、18～30歳の若者たちを対象にした「ローターアクト」に導く役割も果たします。ローターアクトもまた、地域社会、または学校（通常は大学）を母体として設立することができます。ローターアクトクラブは、より意欲的なプロジェクトに取り組み、自主的に活動することが可能です。彼ら自身の奉仕計画のほかにも、人材育成、人前で話すこと、職能開発などにも焦点を合わせています。ローターアクトの問題は、年齢が30歳に達すると退会しなければならない点です。もし、ロータリークラブが高齢会員主体であるならスポンサークラブはクラブの活力を維持し、よどみない流れを維持するために、若い会員を招き入れることを推進すべきです。ローターアクトは、ロータリーの価値を理解し、協同プロジェクトに参加して奉仕活動を手伝っているので、ロータリーへの懸け橋でもあるのです。

インターアクトとローターアクトが、リーダーシップを身につけるのにも役立っているのに対して、指導者養成そのものを目的にしているプログラ

ムがあります。RYLAとしてよく知られているロータリー青少年指導者養成プログラムがそれです。このトレーニングセミナーは、私たちの青少年プログラムの花束の中の3つ目の花です。通常キャンプという形で運営され、いくつかの地区がそれを後援します。ロータリアンたちと地域内の若い人々が出会い、意見交換をする場です。ロータリアンたちはセミナーを運営し、そしてレクリエーションや文化的な活動を取り入れます。

青少年のためのプログラムの中で最もよく知られているものは、15～19歳の学生が、外国でホストファミリーと一緒に暮らし、異なった生活様式を体験することができる青少年交換でしょう。交換学生たちは、新しい言語、新しい宗教、新しい政治体制、新しい通貨、それに新しい伝統にどっぷり浸かります。しかし、最も重要なのは、留学先の国で友達を見つけ、永久に続くであろう友情をはぐくむことでしょう。彼らは、戦争によってではなく、平和的な手段で、お互いのもつ違いによって生じる問題を解決することを学ぶでしょう。私たちは、理解と平和のための基盤を築くことができませんでした。なぜならそれは大海を知ることなく大人になったからです。

超私の奉仕を若い人たちに教え込む

インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAは、青少年が切磋琢磨して成長リーダーシップを身につけることを目標として、組み立てられています。要するに、これらは人格形成のためのプログラムなのです。そして、彼らはまた、未来のロータリアンとして、すでに国際ロータリーの理想に精通している代表たちでもあります。

かつてロータリースローガンであった「すべてのロータリアンは青少年の鑑」は、今日でも重要です。ロータリアンたちは若い人々が彼らの能力を十分に発揮するための手助けができます。私たちの標語である「超私の奉仕」を若いうちに教え込み、そして、次の世紀のロータリーも継続させようではありませんか。



Carl-Wilhelm Stenhammar
2005-06年度国際ロータリー会長

次回例会 平成17年9月20日(火)

講演 「オリベ焼き100選」 画集の出来るまで 織部研究家 久野 治 様 (紹介 大口 君)